

令和5年度 学校関係者評価

学校番号	77	学校名	浜松大平台高等学校(全日制)	記載者	清水 淳次
------	----	-----	----------------	-----	-------

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	1年次から高い志の育成や体系的なキャリア教育を推進し、進路希望の実現を図る。	「将来に対する夢や希望を持っている」 70%以上 (R4:72%、R3:77%、R2:78%)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年へと年々ポイントが上がっているところが素晴らしいと思います。 ・学校生活における学びを通して自分を見つめる力が高まっているのだらうと思いました。 ・全体平均と2・3年生で目標に至っていたことを評価します。 ・7割以上の生徒さんが将来に対する夢・希望を持てるとは、素晴らしいと思います。
		各系列で地域・大学・企業等と連携した活動をする。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・百貨店、福祉法人等とのつながりをさらに広げていくことができたなら、なお良いと思いました。 ・実体験できる事は将来についてイメージしやすくなるので、多く取り入れてほしいです。 ・文化祭等で学生が地元企業と連携した活動をしている様子を拝見したが、キャリア教育としてとても良い取り組みだと思いました。
		「自分にはよいところがある」 80%以上 (R4:81%、R3:83%、R2:79%) 「ボランティア活動をしたことがある」 20%以上 (R4:29%、R3:42%、R2:46%)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己評価82%は素晴らしいですね。 ・自己肯定感を高める手立てをさらに講じていただけたらと思います。 ・「自分には良いところがある」「ボランティア活動」ともに目標値に至っていることを評価しました。 大学生を見てみると、コロナ禍以降、ボランティアに対する意識が以前とは何か違う印象を受けます。もともと自己評価を高める目的ではなく、「何か」を探す一環であったり、関心にかかわったりする目的が中心でしたが、そうした参加者数も減って

					います。むしろ多くの学生には「ボランティア」という言葉自体が既に「無料で便利に奉仕を求められる」といったイメージがあるように感じられます。「社会体験」とか「地域の活動のサポート」というように、「ボランティア」という言葉を使わず募集し、参加者にとっての意味づけを実感させるような仕掛けが必要なのではと感じるようになってきました。
		「自分の希望する進路が実現できた」(3年次生のみ) 80%以上 (R4:88%)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する進路 92%素晴らしい。 ・先生と生徒との対話を感じる。 ・ほぼ全員が第一希望実現には、正直驚きました。 ・92%と多くの3年生が希望進路を実現できていること、またその比率が昨年度と比しても高まっていることを高く評価しました。
イ	基礎学力の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を高める。	到達度テスト正答率 60%以上 (R4:1年63%・2年62% R3:1年54%・2年54%・3年61%)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の実態の差に応じる大変さが良くわかります。 ・「授業がわかる」との生徒の意識をうまく意欲の持続化へとつなげていってほしいと思います ・到達度テスト正答率は全体平均63%であり、学年ごとでも全学年目標値(60%)を達成していました。
		「授業がわかる」 70%以上 (R4:86%、R3:86%、 R2:86%)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業がわかる」は1年生ではやや低め(74%)ではありましたが目標値(70%)は超えており、全体平均も80%と高い達成でした。学年を追うと一般に授業内容は難化すると考えられますが、今年の1年生が次年度この項目にどのような評価をするのか注視したいです。
ウ	文章に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	朝読書で読んだ本の数 年間5冊以上の生徒 50%以上 (R4:38%、R3:31%、 R2:38%) 「図書委員・先生方のおすすめの本」を定期的に発行 (R4:年2回、	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年間5冊達成のパーセンテージを上げる工夫を考えていく必要を感じます。 ・今はネットでも文章に親しむ事ができるので、本の数は少なくても実際にはいろいろな考え方に触れていると思います。 ・読書量がなかなか目標に至りませんね。ただ、例年この目標設定の基準が難しいと感じま

		R3:年4回、 R2:年6回)			す。これは朝読書の時間に集中して読めない状況があるのか、とか、「文章に親しみ～(略)」という目標を踏まえると読む本の「冊数」の問題ではないのでは、とか悩みます。 「おススメの本」に目を通す生徒さんは元々読書される方なのではと感じます。本に関心がない生徒さんの関心を高めるにはビブリオバトルなど本に興味を仕向けるイベントなどを積極的に行ってはいかがでしょう？同じ本について仲間と多様な見方解釈を語りあう場などがあれば現時点であまり読書をしていない生徒さんもその本を手にとってみようと感じるようになるかもしれませんし、見方、感じ方、考え方を豊かにするような本と出合えるチャンスも増えるかと思えます。
エ	授業や学校行事などにおいて、他者と協働して意見交換する機会を多く設ける。	「他者の意見を聞き、自分の考えを深めることができた」 60%以上 (R4:87%、R3:88%、 R2:85%)	A	A	・学校行事を生徒間の交流活発化のきっかけにするのは良い方法だと思いました。 ・目標60%以上に対して20ポイント以上高い達成を示しており、高く評価します。
		「自分の考えをわかりやすく伝えることができた」 80%以上 (R4:73%、R3:72%、 R2:64%)	B	B	・1、2年次に比し3年次は高い。 ・シャイな生徒が多い中、教育の成果か。 ・自分の考え、思いを話す力は、今後益々必要ですね。 ・どの学習でも、このような取り組みがあると良いです。 ・全体平均が75%と、目標(80%以上)に至らなかったことが残念でした。ただし1・2年生はともに69%と低い一方で3年生は84%と目標に至っていました。就職や進学などに向けて考えを述べる機会が増え、成熟してくるのかもしれませんが。3年生が「伝える」スキルを磨いた経験が特定できれば1・2年生次から同様の経験を提供することで、「伝える」スキルが磨かれるのではないかと期待します。(「伝える」

					は場数を踏んで上達する社会的スキルのひとつだとみなしています)。
オ	保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。	HPへの地域貢献活動の掲載、更新 PTA広報誌「桑の木だより」の年2回発行、内容の充実 (R4・R3・R2:年2回発行)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・HP大変ですが、発信のためには欠かせませんね。 ・HPを通して、いろいろな活動を写真付きで発信してくれているのでとてもわかりやすいです。 ・HP や桑の木だよりなど、充実した内容を盛り込まれていると考えます。PTA 役員との意見交換をしながらの発信という方法も保護者にとっては好印象であると思います。
		オープンスクール・文化祭への来訪者の増加 (R4:猿投祭は354人の保護者と同居家族)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・他校の生徒を入れてあげても良かったのではと思いました。(生徒の皆さんと話をしたので) ・実際に学校へ来て雰囲気を感じとれたり、先生と生徒、生徒同士のやりとりが見られると安心です。 ・体験入学もオープンスクールも盛況のようで何よりでした。他校の高校生の入場ができなかったのは残念でしたが、中学生や保護者に少しでも多く来ていただくにはとても良いと思いました。(文化祭を案内して下さった生徒さんも文化祭を見に来て入学したいと思った、と仰っていました。)
		「信頼できる先生がいる」 70%以上 (R4:76%、R3:74%、R2:74%)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・感動的な数字を誇りとして良いのでは。 ・先生方の質の高さ、職員集団の質の高さを感じます。 ・目標値 70%に対して成果は平均 75%、すべての学年で目標を達成していたことを評価します。
		「わが子をこの学校に入れてよかった」 95%以上 (R4:95%、R3:92%、R2:90%)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・92%と目標値には少し不足していましたが、92%もの保護者さんがこのように評価されていること自体、たいへん高く評価したいと思います。他所で出会った方でも「子供が大平台高校に行っています。」という方にお子さんの様子をうかがうと、いずれも「楽しそうな高校生活を

					送っている。」とのことでした。
		近所の人や知り合いの人に挨拶している割合 90%以上 (R4:91%、R3:92%、R2:91%)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・確かによく挨拶してくれて、案内も親切にしてくれた。 ・自転車で登校している生徒さんが、よく挨拶してくださいます。 ・来校者に対しても挨拶したり、挨拶を返す習慣が身に付いているのだなと感じます。 ・見学にお邪魔した際もはきはきとあいさつをしてくれました。この項目の生徒さんの評価は3年生に比べて1・2年生の方が評価が高いのですね。全学年で一貫して高くなると良いと感じました。
カ	個性の伸長をはかり、自主的・実践的態度や望ましい人間関係を形成する力を養う。	「学校行事・委員会活動・部活動等を通して責任感・協調性が育まれた」生徒の割合 80%以上 (R4:89%、R3:93%、R2:90%)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学校行事が復活し、生徒さんたちが「仲間と力をあわせて成し遂げる」経験をする機会が増えたこと、たいへん喜ばしいと思います。目標値を10ポイント以上上回る平均93%の成果は、高く評価したいです。
		「部活動は活発で充実した活動を行っている」 85%以上 (R4:84%、R3:82%、R2:80%)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を出している。成長しているか、結果も大事だが楽しみ。 ・成績にこだわり過ぎず活動そのものの充実度が上がっていくことを大切にしてほしいと思います。 ・目標値85%以上に対して平均86%で成果があがっていると評価しました。3年次では部活動への力を入れていられない事情もできるでしょうし。新聞記事を幾つも見せていただきましたとおりに、部活動で大きな成果を果たしている生徒さんがいらっしゃる事が素晴らしいです。 一方、生徒指導的には確かに部活動などの充実も必要だと感じますが、個人的には全ての生徒さんが部活動で充実を感じる必要もないのかなと思いますので現状で十分かと評価しました。

キ	生徒が安心して学校生活を送れる環境整備を行う。	<p>「心の健康調査」「いじめアンケート」を活用した悩みを持っている生徒の早期発見</p> <p>歯科及び視力治療率 80%以上 (R4: 歯 85% 視 75% R3: 歯 83% 視 93% R2: 歯 73% 視 94%)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面、実際の出来事から学ぶ活動が重視されていくと良いと思いました。 ・アンケートの実施が機能しているのでしたらとても良いです (ICT活用など、事務的な負担が少ない形で実施できていると良いと思います) SNSの講演会や人権教育は「実施した」事実のみでなく何らかの「成果」があると良いと感じますが、ではそれをどう示すかと言われると難しいところではあります…リテラシーが育っているかを判断する何らかの指標があると良いのですが…。 <p>歯科と視力の治療率も目標値に達しており高く評価しました。</p>
		<p>体験型避難訓練の実施 (R4・R3・R2: 体験型訓練〈未実施〉災害時の留め置き用装備品の完備と防災用具の取扱研修の実施 (R3・R2・R1: 実施))</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆるケースを想定した訓練が、できるだけ展開されると良いと思います。 ・4年ぶりに体験型防災訓練を実施できたとのこととても良かったです。 <p>引き続き高校生の皆さんの防災意識や知識を増やしていただきたいと思います。</p>
		<p>安全点検を年2回以上実施 (R4、R3、R2: 2回)</p> <p>スピーディな修繕により事故ゼロ (R4、R3、R2: 事故0件)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事故ゼロ、何よりです。 ・則竹先生の講演いいですね。 ・安全点検の実施が予定どおりであったことは良かったです。 <p>そこから何か課題が出てきているのかはわかりませんが、修繕等も順当に行われていることを期待します。</p>
ク	教育活動が行われるための環境を整えらるとともに、業務改善により職員の多忙化を解消する。	<p>光熱水費の節約を教職員に呼びかける。節約した予算を教育活動に振り分ける。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・物価の高騰にどこも苦心されているとうかがっています。 <p>本当に大変かと思いますがアイデアを出しあって努力されているかと思います。</p>
		<p>定時退勤日(毎週水曜日)の設定</p> <p>部活動の週1日以上の休日設定</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方、上手に体を休めていただきたいと思います。 ・残業の上限が80時間に設定されている事に驚きました。更に業務改善が進むことを願います ・部活休養日は定着しているとのこと、高く評価します。一方で、提示退勤日は「呼びかけ」

					にとどまっているのでしょうか。その成果がどうなのか関心があります。
--	--	--	--	--	-----------------------------------